

医療通訳養成支援間接補助事業に係る費用積算

団体名：日本医療教育財団

区分	支出予定額	算出内訳
人件費	625,000 円	担当者1名分250,000円×5ヵ月×従事割合50%
賃金	600,000 円	担当者2名分400,000円×5ヵ月×従事割合30%
報償費(謝金)	1,000,000 円	講師謝金代(5万円×20回)
需用費(消耗品費)	400,000 円	
役務費	250,000 円	
通信運搬費	150,000 円	郵送料・通信費用
雑役務費	100,000 円	
使用料および賃借料	3,000,000 円	研修会場費用 150,000円×20回
委託費	600,000 円	遠隔通信外部委託費用
<合計額>	6,475,000 円	
<合計額の1/2>	3,030,000 円	上限額3,030千円

- ・本事業において医療通訳養成支援のために必要となる費用について、各区分の「支出予定額」「算出内訳(支出予定額の積算根拠)」欄に入力してください。
- ・「人件費」および「賃金」は、補助金の対象となる取組みに対する従事割合から概算となる金額を算出してください。
※本様式における「人件費」および「賃金」の対象期間は、平成29年11月1日～平成30年3月31日までの5ヵ月間で計算してください。
- ※「賃金」において、時給計算により所得の平均月額等の算出が難しい場合は[直近月の実績×5ヶ月]の金額を概算値としてください。
- ※従事割合の算出根拠については、後日提出していただく予定です。
- ・「委託費」には、補助金の対象となる取組みにおいて、外部業者等に業務を委託する場合の費用を入力してください。
- ・様式C-4 医療通訳養成プログラムに掲げる受講料のコース全体の補助金利用額の合計値との整合性を図り作成してください。

※本様式は、日本工業規格 A 4 判で作成してください。

医療通訳養成支援間接補助事業に係る費用積算

団体名： _____

区分	支出予定額	算出内訳
人件費	円	
賃金	円	
報償費(謝金)	円	
需用費(消耗品費)	円	
役務費	円	
通信運搬費	円	
雑役務費	円	
使用料および賃借料	円	
委託費	円	
<合計額>	円	
<合計額の1/2>	円	上限額3,030千円

- ・本事業において医療通訳養成支援のために必要となる費用について、各区分の「支出予定額」「算出内訳(支出予定額の積算根拠)」欄に入力してください。
- ・「人件費」および「賃金」は、補助金の対象となる取組みに対する従事割合から概算となる金額を算出してください。
※本様式における「人件費」および「賃金」の対象期間は、平成29年11月1日～平成30年3月31日までの5ヵ月間で計算してください。
- ※「賃金」において、時給計算により所得の平均月額等の算出が難しい場合は[直近月の実績×5ヶ月]の金額を概算値としてください。
- ※従事割合の算出根拠については、後日提出していただく予定です。
- ・「委託費」には、補助金の対象となる取組みにおいて、外部業者等に業務を委託する場合の費用を入力してください。
- ・様式C-4 医療通訳養成プログラムに掲げる受講料のコース全体の補助金利用額の合計値との整合性を図り作成してください。

※本様式は、日本工業規格A4判で作成してください。